資料２

平成 29 年度の普及啓発の実践の具体的内容（案）

これまでの市民部会において意見交換してきた内容を基に、平成 29 年度の茅ヶ崎ユニバーサルスポーツフェスティバルの内容について、実現の可能性及び今後の市民部会の取り組み内容を考慮して整理しました。

１．取り組み　※黒字は既存の取り組み，黄色マーカーは市民部会の提案

茅ヶ崎ユニバーサルスポーツフェスティバル		
項　目	取り組み内容	
日　時	・11 月 11 日　土曜日　10 時～15 時	
場　所	・茅ヶ崎市総合体育館　第 1 体育室及びロビー	
実　施 競　技	・卓球（9 卓、サウンドテーブルテニスあり） ・スポーツ吹き矢、ボッチャ（2 面） ・フライングディスク ・車いすバスケットボール体験 ・ファミリーバドミントン（3→2 面） ・輪投げ ・ダーツ	
実　施 方　法	・各種目指導員及び係員を配置し、参加者が自由に体験できる形式をとる。 ・スタッフは一人参加の対戦相手やゲーム形式の際の審判役を担う。 ・アンケートを実施し、回答者には景品をプレゼントする。 ・ロビーにおいて、パネル展等により協議会や各団体での活動を PR する。	
関係者	・主催/公益財団法人茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団 ・後援/茅ヶ崎市、茅ヶ崎市レクリエーション協会 ・主管/茅ヶ崎ユニバーサルスポーツフェスティバル実行委員会 ・協力/茅ヶ崎市身体障害者福祉協会、茅ヶ崎手をつなぐ育成会、茅ヶ崎市肢体不自由児者父母の会、茅ヶ崎市スポーツ推進委員協議会、茅ヶ崎市スポーツ吹矢協会、茅ヶ崎レクリエーション卓球連盟、茅ヶ崎市バリアフリー基本構想推進協議会	
その他	イベントの周知方法	・広報ちがさき、タウンニュース、ポスター・チラシ、障害者団体や子ども会への周知 ・SNS なども活用した拡散型の効果的な周知 ・子どもや家族連れをターゲットに小中学校でのチラシ配布
	同時開催	・ちがさきヴェロ・フェスティバル

２．検討事項

上記の取り組み（案）を実施するためには、市民部会として主体的に行動する必要があり、さらに効果的なものとするためには委員一人ひとりのアイディア出しや調整が不可欠です。検討事項では、実施に向けた必要な準備等に加え、効果的なものとするための＋αについて検討します。

項　目	検討事項
実　施 競　技	・車いす等の手配 ・インストラクター等指導者の配置
実　施 方　法	・アンケートの実施方法 ・アンケート調査票の内容等の企画及び作成 ・景品の手配 ・パネル等の企画及び作成（各団体での活動の PR 等）
周　知	・拡散型の周知方法の選択及び企画 ・ターゲットを絞った効果的な周知方法の提案
同　時 開　催	・ちがさきヴェロ・フェスティバル
その他	・市民部会委員の役割分担 ・各団体での参加者の募集